

【From Kobe 神戸 春爛漫の4月 神戸便り】

野山も里も草木萌え 生命観あふれるうれしい季節 新生の息吹に満ち満ちて、気分も新た

- 収録 1. 春 小さな幸せ探し 毎日の8000歩Walkで
- 収録 2. 桂 枝雀さんの落語「いたり きたり」



4月 満開のさくらと共に春爛漫
新しい出会いと出発に日々あらた

野山も里も草木萌え、新生の息吹に満ち満ちて
街には新しい門出の若者たちの華やいた声が響く
生命観あふれる うれしい季節に 気分も新た
若者たちに「カー杯飛び出せ!!」とエールを送る
今でないとの思いも強い若いの毎日
好奇心もまだある お互い無理せずを前向いて



神戸の街を見おろす一本桜「奥平野の舞桜」 今年はこのように早く満開に びっくりです 2018. 3. 28.

神戸平野 水の科学博物館で すぐ下の宇治川沿いの桜も満開 素晴らしい桜の春でした

4月1日 Happy Easter 復活日

4月1日 イースター・復活日

神共に居まして 行く道を守る
花の香が漂う春 胸膨らませ
新生の息吹に満ちて、我が道を行く

Happy
Easter
2018

God Be with You !!
今の私が身を感謝しつつ
家族・仲間そして世界のみんなに思いを寄せています

まだまだ元気 好奇心はある
仲間が頼りですが、今できることを精一杯
体を大切に！今健康ならそれを維持し、
悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
ジョージ・カーリン「思い返さなくとも」より

今春庭で花を咲かせた
「アーモンド」の花
アーモンドの花の香りが漂う春
花言葉は「希望」「愛」「優しさ」

2018年Easter
Mutsu Nakanishi from Kobe



家内が種から育てた「アーモンド」の木 utsu 今年も花をつけました。
アーモンドの花言葉は「希望」「愛」「優しさ」 アーモンドの香りが漂う春
「神とともにいまして」の思いも日々新た
また、今年は菜の花が咲いている時期と重なり、菜の花に「幸せ」の願いを託し、
病気や追いの克服など幾多の困難の中にいる仲間や 多くの人達に思いをはせる。
. わが身の今を感謝し、平和で穏やかな暮らし
そして迫りくる老いに 今を元気にと祈る。
好奇心もまだ旺盛 Stay Yang Day !!

2018.4.1.. From Kobe Mutsu Nakanishi





度重なる寒波襲来に震えた2月・3月上旬が嘘のような暖かさに 今年梅の開花が遅れましたが、待ち遠しかった梅が咲いたと思うと、菜の花 そして桜までがすぐ後を追う。そして4月桜が満開になったと思うと、桃の花。春爛漫 山は一斉に若草色 そして ピンクのミツバツツジも……

「春爛漫「三春」が「四春」「五春」に。山も里も草木も人も、生命感あふれるうれしい季節 神戸では喜んでいいのかわからないのか? 喜んでいいのかわからないのか 猛スピードで春が駆けつけてゆく今年の四月。今までの季節感とは全く異なる春 25℃以上の出現日でいうと、ここ5年で1ヶ月ほど早くなっているという。実際 桜も含め、1週間以上 春の到来が早まったのか…… うれしい季節到来に 愚痴はいうまい。日に日に老いを感じる中で、健康で元気に動ける我が身に感謝しつつ、お互い *God be with US!!* 我が道をお遅れましたが、神戸の春の便りをお送りします。

2018.4.10. Mutsu Nakanishi



春の妖精 カタクリの花
8年間地中で暮らして、花を咲かせる。
氷河期の生き残りの花
花言葉は 初恋・寂しさに耐える
わたしはもう一つ
春まだ冷たい風に 真っすぐ顔を向け、
身を打ち震わせて、立ち向かう姿に
心ゆさぶられ、一番好き
毎年元氣をもらうカタクリの花
今年も沢山のカタクリの花に出会えました



収録 1.

From Kobe 2018年4月 春到来 小さな幸せ

◆ 春 小さな幸せ探し 毎日の8000-歩Walkで



菜の花の花言葉は「小さなしあわせ」2018.3.14. 神戸総合運動公園 菜の花の丘で
菜の花が早春の田園や菜の花畑で一面を黄色に彩って咲きだしました。

菜の花の花言葉は「小さなしあわせ」 うれしい春の到来

やっと暖かな日が続くようになって、真っ青な空に飛行機雲 桜の開花もまじかの春到来。

相変わらずですが、好奇心一杯 毎日8000歩の小さな幸せ探し。

歩く野山・田園・街角にも春の花がいっぱい。渓をたどれば、川のせせらぎ 鳥の声が心地よい。

また、久しぶりの仲間の会の声もかかって、春の訪れ。 うれしい小さな幸せです。



1年ぶりの仲間との再会 仲間の笑顔が活力に うれしい春の同窓会 2018.3.7



せせらぎの音が聞きたくて、谷筋を登る菊水山 天王谷福原京平野の街に降って、古い温泉銭湯へ 2018.3.13.



私の春の定点 西神戸神出 雌岡山の梅も満開に 2018.3.17.



妙法寺から湖南アルプス東山を超えて南の板宿へ 古道をたどる もう早咲きの山桜が満開に 2018.3.12.

収録2. ◆ 桂 枝雀さんの落語「いたり きたり」

もう長くなりますが、夜眠るときにインターネットの落語動画を一席聞きながら寝る。最後まで聞くとときもあれば、途中で眠ってしまって、「落ち」まで聞かぬ時も多い。今日一日のいろんなことから解放されて、ずっと眠りに入れるような気がします。これも私の小さな幸せ。

久しぶりに聞く枝雀さんの落語「いたり きたり」
 何度か聞いたことあるのですが、こんなに引き込まれて聞いたのは
 今回が初めて。
 このメモの最後にインターネットから採取した枝雀さんの落語を収録
 (インタネットアドレスリンク)しているのですが、
 そのあらすじをインターネットから拾うとざっと次のとおり。



◆ 枝雀さんの落語「いたり きたり」あらすじ ◆

「今ペットを飼っているという男、どんなものを飼っているのかと尋ねると、
 出たり入ったりしている「いたりきたり」と、行ったり来たりしている「でたりはいったり」を飼っているという。
 どちらもイタチを小さくして白くして毛を長くしてフワフワしたような感じのもの。
 名前が逆ではと尋ねるが、それは人間の勝手にはならないと言う。餌にやっているのは「とったりみたり」。

「でたりはいたり」も「いたりきたり」もそれを食うときにね、取ったり見たりして食べる。どっちもおなじ餌。それ餌にしたら、「とられたり みられたり」とおもえる。でも、人間がわがままで勝手に決められず、仕方がないという。ほかに「のらりくらり」や「ねたりおきたりも」いて、これらの餌は「くたりくわんだり」で、2匹とも食たり食わんだりしている。

「こんな餌って、何か役に立つのか」 「心がなくさめられる」

「聞いてるとイライラしてくるかな」

「こっちから見ていると、出たり入ったりだけれど、向こうから見ると入ったり出たりになる。人間見方によって変わってくるのと違うか……行ったり来たりしていてもそこにいる。」

「大阪から東京まで日帰りで行って 俺はビジネスマンだなんて行っている人間も、結局はどこにも行ってないのと違うか？」

人間も同じだと思うて そういふペットを見ていると……心が落ち着く」

「では……ぬらりくらりは……」

「棒で押されたらそのままなんや。」

「人間は悪口言われたら、もしその悪口が合っていたら自分が悪いし、間違っていたらいつか相手が分かってくれる。自分が病気になるって思いやりの心も出る。

そういったことを飼っている動物から教わるのや」

「そう聞くと飼ってみたいくなるな……何か世話してくれるか」

「ちょうどええわ。こっちでいらんようになって、そっちで欲しいというものがおるねん」

「何ちゅうもんやねん？」 「ねごたりかのたりや」

久しぶりに聞く枝雀さんの落語「いたり きたり」

文章にしてしまうと、なんか しち面倒くさいのですが、枝雀さんの落語を通して聴くと実に面白い。何度か聞いたことあるのですが、こんなに引き込まれて聞いたのは 今回が初めて。

いつも ぶつぶつしていることやと気が付いたことが、色々 頭をよぎる。

これは 落語やというより、名言・人生訓やなあと。老いて 知った枝雀さんの味。

枝雀さんの落語「いたり きたり」 私には新鮮で さもありなん じつに楽しかった。

枝雀さんやからこそ語れる落語でした。ちなみに作者は枝雀さん

納得した落語 皆さんには どううつるでしょうか……

ちょっと 気に入ったので おすそわけです。

- 桂枝雀「いたり きたり」 <https://www.youtube.com/watch?v=EcR-b9M6YU0>



桂 枝雀 落語「いたりきたり」14:11

毎日 サンデーの小さな春のしあわせ探し

家族ともども 元気にいられるのを感謝しつつ 神戸の春を迎えています。

2018.3.18. From Kobe Mutsu Nakanishi